



盛夏の候 読者の皆様には健やかにお過ごしでしょうか。

ニューズレターVol.194.7月号をお届けします。

是非ご一読いただき、皆様の活動にお役立てください。

今後も皆様の活動に有用な、できるだけ多くの情報をお届けしますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

編集部 一同

□■トップメッセージ■□

私の行動指針 「地球環境に貢献をする」

ゼロエミッションとの出会い

金城 正信

金城産業株式会社 代表取締役

私は、愛媛県松山市に本社を置く金城産業株式会社で代表取締役を務めるほか、様々な環境関連の活動に携わっています。私の行動指針は、「地球環境に貢献すること」。これは、事業活動においても、個人としての生活においても変わることのない信念です。

この指針の原点は、1997年に遡ります。当時、私は日本青年会議所の「省資源循環型社会システム推進委員会」の委員として、ゼロエミッションの推進を担当しました。ゼロエミッションとは、廃棄物を一切出さず、すべてを資源として活用する産業構造を目指す考え方で、国際連合大学（東京）の研究者グンター・パウリ氏が提唱したものです。とりわけ私の考え方に大きな影響を与えたのは、グンター・パウリ氏から直接学び、彼の理念や行動に触れた経験です。

ゼロエミッションの企業が廃棄物を資源として活用し、その生産工程で発生した廃棄物を別の企業が再資源化する。最終的には“廃棄物ゼロ”を目指すこの革新的な考えに、私は大きな衝撃を受けました。

当時の私は、「リサイクル＝ビジネス＝利潤追求」という固定観念にとらわれていました。しかし、ゼロエミッションの考えに触れたことで、リサイクルとは単なる処理業ではなく、地球環境と共存するための手段であることに気付かされました。

また、熊本県水俣市で開催されたゼロエミッションミーティングでは、水俣病の患者の方々や地域の皆様と交流する機会があり、公害の発生が人間の利益追求の結果として環境への配慮を欠いたものであったことを、深く実感しました。

これらの経験を通じて、私は「地球環境に貢献すること」を自らの行動指針として明確に定め、それ以降、事業でも私生活でも常にこの物差しで判断を重ねています。

リサイクル事業においても、まずは「リユース（再使用）」や「リファーマビッシュ（再生修理）」の可能性を検討し、どうしても再使用できないものについては、マテリアル・ケミカル・サーマルの順で適切に処理を行い、単純焼却や埋立を極限まで抑える方針を貫いています。さらに、各工程では省エネルギーおよび再生可能エネルギーの活用を進めています。

たとえば、自動車リサイクルでは、回収・再使用部品の販売・解体・破碎・破碎残さの再資源化までをワンストップで行い、ゼロエミッションに極めて近い形を実現しています。

個人としても、松山市において環境学習施設の設立を提案・実現したほか、2000 年からはライフワークとして小学生から大学生、社会人まで幅広い世代に向けた環境教育活動を行っています。

現在、ゼロエミッションは単なる企業活動の範囲を超え、社会全体の構造改革を意味する大きな概念となりました。3R（リデュース・リユース・リサイクル）、サステナビリティ、サーキュラーエコノミー（循環型経済）、LCC（ライフサイクルコスト）などとも深く関わり、カーボンニュートラル実現に向けた重要なキーワードとなっています。

このたびの寄稿を通じて、「地球環境に貢献する」という行動を、読者の皆さまとそれぞれの立場で共有し、共に実践していけることを願っています。



【プロフィール】



金城 正信（かねしろ まさのぶ）

1966 年まれ

金城産業株式会社 代表取締役

金属、自動車、小型家電、太陽光パネル etc のリサイクル事業を行う創業 98 年の企業

・一般社団法人 小型家電リサイクル協会 会長

・愛媛県地球温暖化防止推進委員愛媛大学 理学部ステイクホルダー

・NPO 法人 エコステーションまつやま 理事長

・株式会社サイクルドリームプラス 代表取締役（ヴェロリアン松山-プロロードレースチーム）

■■第 18 回 3R ・ 気候変動検定試験は 11 月 16 日に実施します。■■

◆ 「受験紹介クーポン」 による特典 ◆

合格者の皆さまへ、秘密の「受験紹介クーポン」をお伝えします。これを使用して友人や知人を紹介し、申し込み時にクーポンコードを入力すると、**第 14 回検定試験の問題解説集を無料でプレゼント**します。

受験紹介クーポン： sdgs2030

※コードは、紹介する方のみにお伝えください。SNS やホームページでの公開・拡散はご遠慮ください。

■ オンライン受験の選択肢が追加

パソコンを使ったオンライン試験が新たに選べるようになります。会場試験と同じ日、同じ問題で行われますので、特に試験会場から遠くにお住まいの方におすすめです。

■ 申込について

検定の申し込みは 8 月 1 日から開始します。チラシは公式サイトトップページからダウンロード可能です。Facebook や Instagram でも配信中ですので、ぜひ拡散をお願いします。

■ フォローアップ・ステップアップのためにご活用ください

近年、3R に関する法制度も変わり、また気候変動についても大きく状況が変化しています。特に気候変動に関しては「決定的な 10 年」での対応が重要である一方、懐疑論も巷で耳にすることも多くなっています。自信を持って対応できるように、**合格者の皆さんも再度受験してみたいはかがでしょうか。**

□■□ 「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」 認定における試験免除のご案内 □■□

「国家戦略・プロフェッショナル検定」において「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」というものがありますが、資格のレベル認定における「試験免除」が実施されており、本検定合格者もその対象となります。

具体的には、「3 R ・ 気候変動検定」に合格された方で

- ◆ 2 年の実務経験（時期不問）があれば申請によってレベル 2 の認定取得が可能
- ◆ レベル 1 を申請の場合は、申請だけで認定の取得が可能（実務経験不要）となります。

詳細は、一般社団法人産業環境管理協会ホームページ（<http://www.jemai.or.jp/eemanager/about.html>）または、内閣府ホームページ（<https://www5.cao.go.jp/keizai1/jissen-cu/jissen-cu.html>）をご覧ください。

【1】ニュースレター「R」でつながるへの寄稿をお願いします！

寄稿を受け付けているのは次のコーナーです。なお、お寄せ頂いた方の中から、反響の多かった記事に（甲乙つけがたい場合は抽選で）素敵なプレゼントを差し上げます。プレゼントを希望される方は、希望番号もお書き添えください。

◆合格者の声：名前、活動エリア・都道府県、所属団体、なぜ受けようと思ったのか？受けてみての感想は？今後の活動の夢や目標は？公式テキストのおすすめページは？

◆読者の投稿コーナー

○イベント情報・宣伝：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）がこれから実施するイベントを紹介してください。ご自身のお名前（紹介者として掲載します）、イベントタイトル、日時、場所、概要（100字程度）、申込み方法、紹介WEBサイトなどをご連絡ください。

○イベント報告：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）が実施したイベントについてご報告ください。写真なども添えて、楽しいご報告を！（200字以内）

○リーダーお薦め&お役立ち情報：3R・気候変動に関連して、

「この本は目から鱗だった」

「このグッズはすごく3Rだ」

「こんな勉強会をやったらとてもうまくいった」

「ここを訪ねたらとても勉強になった」

「ここの3Rゆるキャラはよくできている」

などの耳より情報をお待ちしております。100～300字程度で。

◆今月の写真：3R・気候変動に関連する写真に近況を添えて。

【応募方法】

- ・ 募集元：一般社団法人持続可能環境センター 担当：ニュースレター編集委員会
- ・ 応募先：ex@3r-cc.jp までお送りください。ご質問等はこちらへ。

【プレゼントの例】

- 1.合格者バッチ（定価：1,000円）
- 2.書籍「環境学～21世紀の教養～」（定価：2,700円＋税）
- 3.高月紘（ハイムーン）お手製グッズ
- 4.本検定代表（浅利美鈴）のソロモン諸島お土産セット
- 5.ふろしき研究会提供のふろしき

【2】プロジェクトアイデア募集しています！

3R・気候変動リーダーズクラブでは、「こんなことに取り組みたい！」「こんなことに取り組んでみたら？」という意見やアイデアなどもお待ちしております。ex@3r-cc.jp までご連絡ください

■最近のニュース

◆環境省

○「第6回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議」の結果概要について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04940.html

1. 2025年5月27日～同年5月28日に、国際連合経済社会局（UNDESA）及び国連気候変動枠組条約（UNFCCC）事務局の主催により「第6回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議」がデンマーク・コペンハーゲンで開催されました。

2. 会議では「衡平で、気候変動に強靱な持続可能な未来のために相乗効果（シナジー）を発揮する」をテーマに議論がなされ、クロージングセッションにおいて主催者によりキーメッセージ等が発表されました。

3. 同会議のハイレベルセグメントにおいて、浅尾環境大臣がビデオメッセージにより、SDGsと気候変動目標の達成に向けたシナジー推進の重要性を指摘し、「アジア太平洋シナジーレポート」等の我が国によるシナジーの世界的拡大に向けた取り組みを紹介し、社会変革に向けた行動推進を呼びかけました。

○日・キルギス間の二国間クレジット制度（JCM）の第1回合同委員会を開催しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04929.html

2025年5月16日（金）、日・キルギス間の二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism: JCM）※1の第1回合同委員会をキルギス共和国にて開催しました。

※1 JCMは、グローバルサウス等のパートナー国で、日本の企業や政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、得られるGHG削減・吸収の効果を、両国の貢献度合いに応じて配分する仕組みです。（<https://www.env.go.jp/earth/jcm/index.html>）

○「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業（業界団体・企業群支援／地域人材育成支援）」への参加団体・企業等の決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04998.html

「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」への参加企業・団体等について、厳正な審査の結果により2団体及び2地域を決定しましたので、お知らせします。

○令和7年度ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業の実施自治体の決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_20240614_1_00004.html

1. 国内における海洋ごみ対策の一層の推進を図ることを目的とし、自治体と企業等が連携した海洋ごみの回収・発生抑制対策等を実効性の高い、かつ、持続可能な取組とするため、モデル事業を実施する5自治体を決定しました。

2. 今後、選定を受けた自治体と企業の連携による先進的な取組に対し、ノウハウを持つ有識者の派遣等を通じて事業プランの作成、連携体制の構築、効果・課題の検証等を行います。

○「令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰」 受賞者選考に向けた募集開始について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04993.html

環境省では、気候変動の緩和及び気候変動への適応に顕著な功績のあった個人・団体に対し、その功績をたたえる「気候変動アクション環境大臣表彰」を実施しています。

今般、令和7年度受賞者の選考に向けた募集を開始しますので、お知らせします。

○地域脱炭素マッチングイベントの開催及び地方公共団体の募集について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_05008.html

環境省は、地域脱炭素に取り組みたい地方公共団体と、脱炭素に関する豊富な経験等を有する民間事業者との間で人的ネットワークを構築し、地域脱炭素を推進していくことを目的として、地域脱炭素マッチングイベントを開催します。

今般、本イベントへの参加を希望する地方公共団体の募集を行います。

なお、民間事業者については8月上旬頃の募集開始を予定しています。

○【第13回グッドライフアワード応募開始】今年もやります！“環境と社会によい暮らし”を大臣表彰します！

⇒ https://www.env.go.jp/press/111141_00009.html

環境省が主催する「第13回グッドライフアワード」の募集を、令和7年6月6日（金）から開始しますので、奮って御応募ください！

本アワードでは、これまで累計400件を超える取組を表彰し、受賞をきっかけとして注目が高まり、活動拡大のチャンスをつかんでいただきました。また、受賞者のネットワークで新たな活動も生まれています。企業、学校、地域、個人、NPO等の様々な主体で実践されている“環境と社会によい暮らし”やこれを加速させるビジネスや活動など、社会変革につながる取組を、広く募集・表彰します。

○令和7年度「環境白書を読む会」の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/111156_00003.html

環境省は地方環境事務所等と共同で「環境白書を読む会」を開催します。この会では、令和7年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書（令和7年6月6日閣議決定）について、テーマや狙い等を環境省の担当者が解説します。

○令和7年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/111155_00003.html

令和7年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書は本日令和7年6月6日（金）に閣議決定されたため公表いたします。

私たちの暮らしは、食料や水の供給、気候の安定など、自然から得られる恵みによって支えられています。しかし今や、人類の活動は、地球の限界を超えつつあり、自らの存続の基盤である自然環境を破壊し、気候変動や生物多様性の損失、深刻な環境汚染など様々な環境問題を生じさせています。このような複合する環境危機を克服し、環境のもたらす恵みを将来世代まで引き継いでいくためには、現在の経済社会をネット・ゼロで、循環型で、ネイチャーポジティブが統合されたものへと大胆に変革していくことが必要不可欠です。昨年5月に閣議決定した第六次環境基本計画で

は、環境政策が目指すべき社会の姿として、「循環共生型社会」の構築を掲げ、現在のみならず、将来にわたって「ウェルビーイング／高い生活の質」をもたらす「新たな成長」の実現を目指すことを打ち出しました。

本白書では、「新たな成長」を導くグリーンな経済システムの構築をテーマに、昨今の環境の状況、施策等を交えて概説しています。

○環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」の新規認定について（三光株式会社 江島工場）

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_05023.html

<松江市同時発表>

持続可能な社会の担い手を育成するための環境教育においては、五感を使って学びを深める体験活動を行うことが重要です。環境教育等促進法に基づき都道府県知事等が認定する「体験の機会の場」は、安全性の基準を満たし、質の高い体験プログラムを提供する体験活動の場となっています。

この度、島根県松江市にある三光株式会社 江島工場が松江市長より「体験の機会の場」として新たに認定されましたので、お知らせします。現在、本施設を含め全国 35 か所が認定されております。

○温室効果ガス濃度が見える GOSAT 3D ビジュアライザーを「はまぎん こども宇宙科学館」に展示します

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_05032.html

<横浜市同時発表>

環境省は、国立環境研究所及び JAXA とともに、気候変動に関する科学の発展、気候変動政策・取組評価への貢献を目的に、温室効果ガス観測技術衛星（GOSAT(ゴースット)シリーズ）を活用し、大気中の二酸化炭素及びメタンを観測しています。

このたび、GOSAT シリーズで観測した温室効果ガス濃度の分布等を立体的に表示・体感できる「GOSAT 3D ビジュアライザー」について、横浜市の「はまぎん こども宇宙科学館」で展示することになりましたので、お知らせします。GOSAT 3D ビジュアライザーの科学館展示は日本初となります。横浜市、「はまぎん こども宇宙科学館」のご協力の下、環境教育の一環として子ども達が最先端のデータに触れる機会を提供するものです。なお、今後、他の科学館においても、展示を検討しています。

「はまぎん こども宇宙科学館」における展示期間は 2025 年 6 月 18 日（水）から 2026 年 3 月 31 日（火）の間の予定です。

○環境省組織令の一部を改正する政令について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_05060.html

■ 環境省組織令の一部を改正する政令の趣旨・概要

・ 令和 6 年 8 月に策定した「第五次循環型社会形成推進基本計画」や、令和 6 年 12 月に循環経済に関する関係閣僚会議でとりまとめた「循環経済への移行加速化パッケージ」に基づき、循環経済への移行を加速化していくため、政策の実行体制の構築が必要であり、環境再生・資源循環局に、新たに資源循環課を設置する。

・ 廃棄物規制課は廃止し、資源循環課の所掌に属することとする一部の事務を除き、同課の事務を参事官が所掌する。

■施行期日 令和7年7月1日（火）

○第11回日本国環境省・アジア開発銀行環境政策対話の結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04949.html

1. 環境省とアジア開発銀行（ADB）は、2025年5月20日に第11回環境政策対話を実施しました。
2. 政策対話には、松澤裕環境省地球環境審議官及びファティマ・ヤスミン ADB 副総裁が出席し、意見交換を行いました。
3. 議論の結果、世界全体で2030年までの持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、両者は、環境協力に関する覚書（LOI）に基づくパートナーシップの継続が重要であることを確認しました。両者の協力においては、環境問題のより幅広い分野において、分野横断的に共同の取組を行うことが重要であるとし、特に二国間クレジット制度（JCM）、気候変動への適応、大気質管理、生物多様性、廃棄物、プラスチック汚染対策、シナジー促進に関する取組を強化し、協力していくことになりました。

○令和7年度「はじめよう！地域脱炭素セミナー」の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_05062.html

1. 環境省では、「これから地域脱炭素事業をはじめたい」自治体や地域の事業者等を対象に、基礎的な知識や事例、実践の際に様々な壁を乗り越える方法等を学ぶことができるオンライン基礎講座「はじめよう！地域脱炭素セミナー」を開催します。
2. 今般、令和7年度の各回の開催日及び講座テーマを決定し、申込み受付を開始します。
3. 第1回目の開催日時は、令和7年7月18日（金）13時～15時です。

○令和7年度環境保全功労者等表彰受賞者が決定しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/106854_00003.html

環境省では、毎年6月の環境月間に合わせて、環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関して顕著な功績があった者（個人及び団体）に対し、その功績をたたえるため、環境大臣による表彰を行っています。

今年度は、104件（37名、67団体）を受賞者として決定しました。

環境保全功労者表彰受賞者9名に対する表彰式を、令和7年6月26日（木）に環境省第1会議室（中央合同庁舎5号館22階）にて行います。

○リユース等の促進に関するロードマップの方向性の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_05065.html

1. 環境省では、「使用済製品のリユース促進に係る検討会」で整理された令和6年度中間とりまとめを基に、浅尾環境大臣が参加しリユース関係者と意見交換を行う「リユース促進に向けた懇談会」でいただいた御意見も踏まえ、リユース等の促進に関するロードマップの方向性を取りまとめました。

2. 今後はこの方向性を踏まえ、引き続き検討会において議論を行い、令和7年度中に「リユース等の促進に関するロードマップ」の策定を目指します。

○「環境課題の統合的取組と情報開示に係る手引き」の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00029.html

人類が直面する深刻な環境危機を背景に、気候変動対策、生物多様性の確保や循環型社会の形成など対応すべき環境課題が拡大する中、企業に対する具体的な取組の実施とその情報開示への社会的な要請が高まっています。サステナビリティ開示の義務化や、開示対象範囲の拡大が進んでいます。

こうした動向も踏まえ、環境省では、様々な環境分野における企業に対する開示の要求事項に対して、企業が効果的、効率的に対応し、複数の環境課題の同時解決に資するアプローチである、環境課題の統合的取組の手法等を有識者による研究会において検討しました。

○全ての「地球温暖化防止活動推進センター」（デコ活ジャパン・デコ活ローカル）により、「デコ活宣言」がなされました！

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00027.html

「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）※1では、その推進のため、企業・自治体・団体・個人による「デコ活宣言」を呼び掛けております。この度、全国地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ジャパン）※2及び全ての地域地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ローカル）※3により、「デコ活宣言」がなされましたので、お知らせします（参考1）。

※1「デコ活」とは

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、二酸化炭素（CO₂）を減らす（DE）脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。（<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>）

※2 全国地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ジャパン）とは

地球温暖化対策の推進に関する法律第39条に基づき、環境大臣により指定された、地球温暖化対策に関する普及啓発を行うこと等により地球温暖化の防止に寄与する活動の促進を図ることを目的とした組織です。また「デコ活ローカル」の各地域での活動の支援も行っております。

「デコ活ジャパン」は、「全国地球温暖化防止活動推進センター」の「デコ活」を冠した愛称です（https://www.env.go.jp/press/press_02079.html）。※4

※3 地域地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ローカル）とは

地球温暖化対策の推進に関する法律第38条に基づき、都道府県知事等により指定された、地球温暖化対策に関する普及啓発を行うこと等により地球温暖化の防止に寄与する活動の促進を図ることを目的とした組織です。「デコ活ローカル」は、「地域地球温暖化防止活動推進センター」の「デコ活」を冠した愛称です

（https://www.env.go.jp/press/press_02079.html）。※4

※4 デコ活ジャパン・デコ活ローカルの地域におけるデコ活の取組について

デコ活ジャパン・デコ活ローカルは、環境省と連携し、各地域におけるデコ活の推進の役割を担っています。この一環で、令和6年度、各地域において、「デコ活地域交流会」を開催しました。

令和7年度においても、「デコ活地域交流会」の開催を予定していますので、ぜひ御参加ください（デコ活応援団（官民連携協議会）の参画団体であれば、参加可能です。）！

（参考1）全国地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ジャパン）及び地域地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ローカル）による「デコ活宣言」の内容

各宣言の内容は以下でご覧になれます。

⇒ <https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/join/list/>

○令和7年度「環境省こども霞が関見学デー」の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00012.html

「こども霞が関見学デー」は、各府省庁などが、どんな仕事をしているかを子どもたちに知っていただくために、毎年夏休みに開催しているイベントです。今年度、環境省は令和7年8月6日（水）・7日（木）で実施します。楽しいプログラムを用意して、皆様の御参加をお待ちしています。

最新の情報は以下の URL から御参照ください。

⇒ https://www.env.go.jp/guide/kids_kengaku/info_r07.html

○第20回日EU環境高級事務レベル会合の開催について（結果）

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00058.html

1. 2025年6月23日（月）に日本国環境省と欧州委員会環境総局は、第20回日EU環境高級事務レベル会合を開催しました。
2. 会合は欧州委員会環境総局によりホストされ、松澤裕・環境省地球環境審議官とパトリック・チャイルド・環境総局長代理が主導し、主要な環境課題に関する意見交換や、日EUグリーン・アライアンスにおける戦略的パートナーシップの強化について議論しました。

○家電リサイクル法に基づく引渡義務違反に係る勧告を行いました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00031.html

旭化成ホームズ株式会社（本社：東京都千代田区）において、排出者から引き取った特定家庭用機器廃棄物の一部が、製造業者等（指定引取場所）へ引き渡されず、いわゆる不用品回収業者やスクラップヤード業者などの製造業者等以外の者に引き渡されていたことから、経済産業省及び環境省は、家電リサイクル法第16条第1項に基づき、同社に対し、排出者から特定家庭用機器廃棄物を引き取ったときは、製造業者等に当該特定家庭用機器廃棄物を引き渡すべき旨の勧告等を行いました。

○優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰します～第2回脱炭素都市づくり大賞 募集開始の御案内～

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00063.html

1. 環境省及び国土交通省は、優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰し、全国における脱炭素型の都市づくりを促進することを目的として、「第2回脱炭素都市づくり大賞」の募集を開始します。
2. 応募期間は令和7年6月27日（金）から同年8月29日（金）までです。

○我が国の食品ロスの発生量の推計値（令和5年度）の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00002.html

1. 令和5年度の食品ロスの発生量は約464万トン（うち家庭系約233万トン、事業系約231万トン）と推計されました。
2. 食品ロスの削減は循環経済への移行やネットゼロの実現に向けても重要な課題であり、環境省では、関係省庁、自治体、事業者等と連携して、更なる食品ロス削減のための取組を進めてまいります。

○温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）の打上げ結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00032.html

本日、温室効果ガス・水循環観測技術衛星「GOSAT-GW」※がJAXA種子島宇宙センターより打ち上げられ、所定の軌道に投入されました。

※ 温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）

GOSAT-GW（Global Observing SATellite for Greenhouse gases and Water cycle）は、二つのミッション機器、すなわち高性能マイクロ波放射計3（Advanced Microwave Scanning Radiometer 3: AMSR3）および温室効果ガス観測センサ3型（Total Anthropogenic and Natural emissions mapping Spectrometer-3: TANSO-3）を搭載しています。

○ベトナムにおける二国間クレジット制度（JCM）へのビジネス参画促進に関するフォーラム及びJCMと炭素市場に関するビジネスと投資に関する説明会・相談会を開催します

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00120.html

1. 日本国環境省とベトナム国農業環境省主催により、2025年7月22日・23日にベトナム・ハノイにおいて、ベトナムにおける二国間クレジット制度（JCM）へのビジネス参画促進に関するフォーラム「Forum on Promoting Business Engagement in the Join Crediting Mechanism (JCM) in Vietnam towards Readiness for Vietnam's Carbon Market」を開催します。
2. 本フォーラムの前半では、ベトナムにおける炭素市場の設立と効果的な運営に必要な法制度と基盤整備の進捗に関する包括的な情報、JCMの最新動向と将来的な可能性等実際のJCMプロジェクトに関する情報を提供して、今後のJCMにおける日越の協力のあり方等について議論する予定です。

○国連のパリ協定6条実施対話で、環境省とパリ協定6条実施パートナーシップセンターがJCMなどに 関する取組を発信しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00069.html

<パリ協定6条実施パートナーシップセンター同時発表>

1. 2025年6月18日・19日、ドイツ連邦共和国・ボンにて開催されたパリ協定6条実施対話において、飯野暁（環境省JCM推進室長）と、小塚一久（パリ協定6条実施パートナーシップセンター長）が発表しました。
2. 飯野室長からは、JCMを通じた協力により、パートナー国における脱炭素技術の普及や新たな基準の導入につながった優良事例を紹介しました。また、小塚センター長からは、パリ協定6条実

施パートナーシップセンターの活動概要、6条の実施に向けた課題、そして今後の方向性について説明しました。

3. 環境省は、今後とも、COP30をはじめとする様々な国際チャネルを有効活用し、JCMが、パリ協定第6条に基づく有用な協力的アプローチであることを、積極的に発信していきます。

○ドイツボンでJCMグローバルパートナーシップ第5回会合を開催しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00068.html

1. 2025年6月18日に、国連気候変動枠組条約第62回補助機関会合（SB62）の期間にあわせて、ドイツ連邦共和国・ボンにおいて、二国間クレジット制度（JCM）グローバルパートナーシップ第5回会合を開催しました。

2. JCMパートナー国30か国のうち18か国の政府担当者や実施機関関係者が参加し（オンライン参加7か国含む。）、パートナー国におけるJCMのこれまでの実績や課題・可能性について共有するとともに、プロジェクト形成の促進、クレジット発行の拡大、プロジェクト実施の効率化等について議論を行いました。

3. 環境省としては、引き続き、関係省庁・パートナー国・JCMA等と連携し、より一層、JCMの利用拡大・加速に取り組み、温室効果ガス排出削減・吸収、持続可能な開発を促進することにより、世界の脱炭素化に向けた取組に貢献していきます。

○環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/109722_00001.html

1. 環境省は、環境産業の市場規模・雇用規模等の推計結果をまとめた「環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書」を毎年公表しています。

2. この度、「令和6年度環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書（2023年調査結果）」を公表いたします。

○気候変動枠組条約第62回補助機関会合（SB62）が開催されました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00061.html

2025年6月16日～同年6月26日、ドイツ連邦共和国・ボンにおいて開催された、科学上及び技術上の助言に関する補助機関（SBSTA）及び実施に関する補助機関（SBI）会合の第62回会合の結果をお知らせいたします。

○令和7年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業参加団体決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00096.html

環境省は、地域ぐるみでの中堅・中小企業に対する脱炭素経営支援体制構築を目的とした支援事業として、令和7年度「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」への参加団体を決定しました。

地域ぐるみでの中堅・中小企業に対する脱炭素経営支援体制の構築を進めるモデル事業の創出と、地域ぐるみの支援体制構築をより地域主導の活動へと移行していく方法の在り方の検証を目的とし、令和7年度に実施する「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」について、令

和7年5月13日(火)から同年6月13日(金)まで参加団体を公募しました。審査の結果、10件の参加団体を決定しました。

◆経済産業省

○「省エネ・地域パートナーシップ 第3回全体会合」を開催しました

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/06/20250627006/20250627006.html>

経済産業省は、中小企業等の省エネを促進するため、金融機関や省エネ支援機関が参加する「省エネ・地域パートナーシップ」の第3回全体会合を開催し、パートナー機関※や静岡県による取組の紹介等を行いました。

※ 197 のパートナー金融機関と 57 のパートナー省エネ支援機関は、地域の中小企業等の省エネを推進するための令和7年度取組方針・活動計画を策定しました。

○2025年アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）高級実務者会合の開催及び Energy Asia における AZEC の情報発信を行いました

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/06/20250626002/20250626002.html>

経済産業省は、6月19日（木曜日）、2025年アジア・ゼロエミッション共同体高級実務者会合（AZEC SOM）をマレーシア・クチンにおいて、マレーシア経済省と共同で開催しました。各国から高級実務者等が参加し、今年度の AZEC 閣僚会合における成果について議論を行いました。また、6月16日（月曜日）から18日（水曜日）、マレーシア・クアラルンプールにおいて開催されたエネルギー国際イベント Energy Asia において AZEC の情報発信を行いました。

○「令和6年度エネルギーに関する年次報告」（エネルギー白書2025）が閣議決定されました

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/06/20250613003/20250613003.html>

エネルギーに関する年次報告（エネルギー白書）は、エネルギー政策基本法第11条に基づき、政府がエネルギーの需給に関して講じた施策の概況について国会に提出する報告書です。本日、令和6年度年次報告が閣議決定されました。

◆農林水産省

○事業系食品ロス量（2023年推計値）を公表

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250627.html>

農林水産省は、食品ロス削減の取組を一層促進するために、食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量の推計を行い、消費者庁、環境省とともに公表しています。

2023年度の食品ロス量は464万トン（前年度比▲8万トン）、このうち事業系食品ロス量は231万トン（前年度比▲5万トン）となり、2000年度比で58パーセント削減しました。

○令和7年度バイオマス産業都市構想の提案を募集します

⇒ https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/r_energy/250620.html

関係7府省（内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）は連携して、バイオマス産業都市の構想を推進しています。本日から令和7年10月31日（金曜日）までの間、令和7年度のバイオマス産業都市構想の提案を募集します。

【概要】

我が国においては、農村部・都市部の各地域において、木質、食品廃棄物、下水汚泥、家畜排せつ物などの豊富なバイオマスを持っており、地域のバイオマスを活用した産業の創出と地域循環型の再生可能エネルギーの導入推進を図り、地域の雇用創出や活性化につなげていくことが重要な課題となっています。

こうした状況を踏まえ、平成 24 年 9 月に関係 7 府省が共同でとりまとめたバイオマス事業化戦略において、原料の収集・運搬から製造・利用までの経済性が確保された一貫システムを構築し、バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指すバイオマス産業都市の構築を推進しているところであり、これまでに 104 市町村をバイオマス産業都市として選定しています。

◆国土交通省

○第 3 回 建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を 促進する制度に関する検討会を開催します～建築物のライフサイクルカーボン削減のための制度について議論を進めます～

⇒ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001286.html

2050 年カーボンニュートラルの達成に向けて、GX 価値の見える化を通じ、建築物の建設から解体までのライフサイクル全体において排出される CO₂ 等（ライフサイクルカーボン）の削減を図るため、建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度について、第 3 回の検討会を開催します。

○第 2 回脱炭素都市づくり大賞 募集開始のご案内 ～優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰します～

⇒ https://www.mlit.go.jp/report/press/toshikankyo_250627.html

国土交通省及び環境省は、優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰し、全国における脱炭素型の都市づくりを促進することを目的として、「第 2 回脱炭素都市づくり大賞」の募集を、6 月 27 日（金）より開始します。

◆総務省

○リチウムイオン電池等の回収・再資源化に関する調査 ＜結果に基づく通知＞

⇒ https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/hyouka_250625000182854.html

近年、リチウムイオン電池（LIB：Lithium-Ion Battery）の使用製品の増加・多様化に伴い、市区町村が回収するごみへの混入による処理施設等の火災事故等が頻発し、ごみ処理が滞ることによる社会生活への影響などが懸念されています。

LIB 等の回収・再資源化については、法令等に基づき、製品メーカー等には自主回収等の責務があり、市区町村には一般廃棄物の統括的な処理責任があります。一方、国による製品メーカー等の自主回収等の取組状況の把握や、市区町村による回収の実施は一部にとどまっており、回収・再資源化の全体像は必ずしも明らかになっていません。

このような状況を踏まえ、市区町村における LIB 等に起因した火災事故等の減少及び LIB 等の再資源化の推進を図る観点から、関係機関の取組実態等を調査しました。「製品・サービスのカーボン

フットプリントに係るモデル事業」への参加企業・団体等について、厳正な審査の結果により2団体及び2地域を決定しましたので、お知らせします。

◆国立研究開発法人国立環境研究所

○「海岸のプラごみがマイクロ・ナノプラスチックになるまで」記事を公開しました【国環研 View DEEP】

⇒ https://www.nies.go.jp/kokkanken_view/deep/column-20250625.html?utm_source=news&utm_medium=mail#gsc.tab=0

○世界各国の鉄鋼産業はどの程度「循環型」なのか？

⇒ <https://www.nies.go.jp/whatsnew/2025/20250602/20250602.html>

■各種情報・イベント等

■行政関係

◆北海道

○オンラインパネル展 | ONLINE PANEL EXHIBITION

⇒ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/new/index.html>

◆宮城県

○サーキュラーエコノミー（循環経済）について

⇒ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/circular-economy.html>

○フードロスクーポンミニアプリについて

⇒ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/foodloss-coupon.html>

○宮城県循環型社会形成推進計画（第3期）について

⇒ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/sakutei.html>

◆山形県

○持ち歩こう！マイボトル運動

⇒ <https://www.pref.yamagata.jp/050010/kurashi/kankyo/recycle/mybottle.html>

◆茨城県

○減らそう『食品ロス』 × 減らそう『飲み残し』

⇒ <https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shijun/kikaku/nominokosi.html>

◆栃木県

○リチウムイオン電池の膨張、発煙・発火に注意

⇒ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/c03/life/shouhi/seikatsu/kouhou/0619shinnsenn514.html>

○とちぎの廃棄物（令和5（2023）年度版）

⇒ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/d05/eco/haikibutsu/haikibutsu/tochihair5.html>

○環境学習サイト「まなびのもり」の公開

⇒ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/d05/keneisyobunzyou/kannkyougakusyuuusaito.html>

◆千葉県

○令和7年度「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」参加者募集について

⇒ <https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/press/2025/r7wakamonoouen-bosyuu.html>

○令和 7 年度「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」応募者支援のページ

⇒ <https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/kankyougakushuu/wakamono/2025/r7wakamono-oubosien.html>

◆神奈川県

○プラスチックごみの削減に向けた啓発を、県内イオン・イオンスタイル店舗で実施します！

⇒ https://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/prs/mybasket_2025.html

◆石川県

○いしかわエコレンジャーについて

⇒ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/pp/ecorangers.html>

◆福井県

○一般廃棄物（ごみ）の排出および処理状況（令和 5 年度）

⇒ <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/junkan/ippan/r05ippannhaikibutsu.html>

◆長野県

○長野県内の一般廃棄物排出量と処理状況

⇒ <https://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/haiki/haishutsuryo-02.html>

◆愛知県

○AEL（あえる）ネット環境学習スタンプラリーを開催します！

⇒ <https://www.pref.aichi.jp/press-release/kankyokatsudo-aelstamprally7.html>

◆山口県

○「令和 7 年度次世代環境リーダー育成プロジェクト」の参加者募集について

⇒ <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/308662.html>

◆熊本県

○今年もやります♪「フードドライブ 2025」の実施について

⇒ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/55/209207.html>

◆千葉市

○イオン株式会社とサーキュラーエコノミーの推進に関する連携協定を締結します～官民連携による、未来につながる循環型ライフスタイルを創出～

⇒ <https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/shichokoshitsu/hisho/hodo/documents/250602-3-1.pdf>

○千葉市のごみ量

⇒ <https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/herasou.html>

◆新潟市

○令和 7 年度「にいがた市エコレシピコンテスト」を開催します

⇒ <https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/gomi/recycle/shokuhinrosu/ecorecipe/r7ecorecipecontest.html>

◆浜松市

○PASSTO で衣類・雑貨類をリユースしてみませんか？

⇒ <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ippai/gomi/genryou/passto.html>

◆名古屋市

○【危険！】プラスチック資源にモバイルバッテリー等発火のおそれのあるものを出さないください！

⇒ <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000186925.html>

◆京都市

○京都市とイオン株式会社との連携による充電式電池を内蔵した小型の電化製品の回収開始

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000342891.html>

○令和 6 年度のごみ量

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000342309.html>

◆堺市

○堺市学生エコレシピコンテストの参加者を募集します

⇒ https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/gomi_recy/recycle/ecorecipe/index.html

○植田油脂株式会社及び ENEOS 株式会社と廃食用油の資源化促進に関する協定を締結しました

⇒ https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kako-hodo/r7/r706/070624_04.html

◆葛飾区

○減らそう「食品ロス」×減らそう「飲み残し」！

⇒ <https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000048/1001534/1038925.html>

◆函館市

○函館市のごみの排出状況

⇒ <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014010900616/>

◆川口市

○令和 7 年度 かわぐち環境フェスタ/プラスチックスマートフェスタを開催します！

⇒ <https://www.city.kawaguchi.lg.jp/event/48981.html>

◆市川市

○じゅんかんニュース第 67 号「クリーンセンターへの家庭ごみの持ち込みに事前予約が必要になります」を発行しました

⇒ <https://www.city.ichikawa.lg.jp/common/env04/file/0000490396.pdf>

◆船橋市

○不法投棄を見つけたら LINE で通報を！

⇒ <https://www.city.funabashi.lg.jp/machi/kankyou/003/p110391.html>

◆昭島市

○家庭で不用になった園芸用土を回収します

⇒ <https://www.city.akishima.lg.jp/s072/010/010/010/20250512165119.html>

◆鎌倉市

○クリーンアップかまくら（海の部）×黒ひげ危機一発の開催について

⇒ <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kisya/data/2025/20250624.html>

○ブックオフコーポレーション株式会社と「リユース・リサイクル推進の仕組みを活かした鎌倉の教育に関する連携協定」を締結します

⇒ <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kisya/data/2025/20250602-3.html>

◆藤沢市

○爆発・火災事故が多発しています。正しい分別と排出にご協力ください!!

⇒ <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kankyo-j/20160816.html>

◆東大和市

○「マイボトル用の給水機」を設置しています！ ～マイボトルを持って出かけよう！～

⇒ <https://www.city.higashiyamato.lg.jp/kurashi/gomirecycle/1001947/1009556.html>

◆吹田市

○「Fry（使用済み油で）to Fly（空を飛ぶ）！」家庭で使った使用済み油の回収にご協力を。プレゼントキャンペーン実施中！

⇒ <https://www.city.suita.osaka.jp/sangyo/1018079/1018080/1039068.html>

◆高松市

○使用済小型家電の回収・リサイクルに御協力ください！

⇒ <https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kurashi/gomi/recycle/kogatakaden.html>

■団体関係

◆アルミ缶リサイクル協会

○2024 年度飲料用アルミ缶リサイクル率を掲載しました。

⇒ <https://www.alumi-can.or.jp/pages/98/>

○出前教育 世田谷区リサイクル千歳台で子供たちにリサイクルの教育を行いました。

⇒ <https://www.alumi-can.or.jp/pages/71/>

◆ガラスびん 3 R 促進協議会

○「ガラスびん 3 R データ集」を一部更新しました(2024 年実績を追加)

⇒ <https://www.glass-3r.jp/data/index.html>

○令和 5 年度市町村別 1 人当たりのガラスびん分別基準適合物引渡算出結果を掲載

⇒ https://www.glass-3r.jp/gover/recycle_tr/index.html

◆(NPO)環境文明 21

○会報「環境と文明」目次録および巻頭言「風」を更新しました。会報 3 月号の全文を公開しました。

⇒ http://www.kanbun.org/kaze/mokuji_33.html

◆スチール缶リサイクル協会

○環境教育推進支援の募集を開始しました

⇒ <https://steelcan.jp/education/>

○集団回収支援の募集を開始しました

⇒ <https://steelcan.jp/group/>

◆日本生活協同組合連合会

○「第 3 回プラ・リサイクル共通テスト」プレゼントキャンペーンを実施します

⇒ https://jccu.coop/info/announcement/2025/20250529_01.html

◆PET ボトルリサイクル推進協議会

○統計データ「使用済み PET ボトルの輸出状況」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/exportation.html>

○統計データ「PET ボトルの再商品化実績」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/achievement.html>

○RING Vol.43 公開

⇒ https://www.petbottle-rec.gr.jp/ring/vol43/bk_pdf/ring43all.pdf

■参加者募集

◆秋田県

○【あきたサイエンスクラブ】眠れる資源を呼び覚ませ！ゴミから価値ある金属を取り出そう！（科学講座・秋大コース）

⇒ <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/83003>

◆大分県

○《参加者募集》令和7年度 OITA スポ GOMI ブロック大会

⇒ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13400/supogomir7.html>

◆足立区

○【清掃一組からのお知らせ】足立清掃工場で意見交換会と工場見学を開催します！

⇒ <https://www.city.adachi.tokyo.jp/seso/seisoukoujouevent.html>

◆武蔵野市

○令和7年度「夏休みごみ探検隊」今年も募集します。（募集開始7月2日）

⇒ https://www.city.musashino.lg.jp/gomi_kankyo/gomi/event_gomi_kankyou/1044107.html

■意見募集（パブリック・コメント）

◆福岡市

○「福岡市環境基本計画（第四次）」原案について市民意見を募集します

⇒ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/kouhou-hodo/hodo-happyo/2025/documents/kankyokeikaku4.pdf>

■その他募集

◆北海道

○ごみの散乱防止などに関するポスター及び標語を募集しています！

⇒ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/sanran.html>

◆山形県

○【置賜地区の小・中学生対象】令和7年度廃棄物適正処理・3R推進ポスター募集！（応募締切：9月5日）

⇒ https://www.pref.yamagata.jp/325022/kurashi/kankyo/haikibutsu/r7_poster_recruiting.html

◆福島県

○ふくしまゼロカーボンアワード2025（学校版）

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r7-zero-carbon-hyosyo-gakko.html>

◆東京都

○TOKYO エシカルアクションコンテスト作品募集

⇒ <https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/06/2025060213>

◆新潟県

○こどもエコチャレンジに挑戦してみよう！

⇒ <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kankyoseisaku/1215712882187.html>

◆福井県

○プラスチックごみ削減フォトコンテスト2025を開催します

⇒ <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/junkan/photo2025.html>

◆長野県

○信州エコポスターコンクール2025 環境保全に関するポスターを募集します

⇒ <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/happyou/20250609press.html>

◆滋賀県

○令和7年度ごみ減量化と環境美化に関する標語・ポスターコンクール開催中！

⇒ <https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/320015.html>

◆大阪府

○「令和7年度おおさか環境デジタルメディア学生コンテスト」の作品を募集します！

⇒ https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o120020/prs_51178.html

◆奈良県

○「奈良県不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーン啓発ポスター募集

⇒ <https://www.pref.nara.jp/39603.htm>

◆高知県

○令和7年度 とさクル！～リサイクル製品等認定制度～に係る募集について（募集期間：6月2日から8月29日まで）

⇒ <https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025053000164/>

◆福岡県

○「3R推進」ポスターコンテストの作品を募集します！～（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター主催～

⇒ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/3r-poster2025boshu.html>

◆横浜市

○第32回横浜環境活動賞 募集を開始します

⇒ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kankyo/2025/0609katsudo.html>

◆京都市

○令和7年度「エシカル消費のタネ」消費者標語大募集！

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000340910.html>

◆熊本市

○熊本市環境ポスターコンクールの実施について

⇒ <https://www.city.kumamoto.jp/kiji00364578/index.html>

◆金沢市

○「ごみを減らそう！」ポスターコンクール

⇒ <https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/gomigenryosuishinka/gyomuan-nai/1/3/4/event/6804.html>

◆豊中市

○まち美化ポスターを募集（小中学生対象・9月30日まで）

⇒ https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/machi_bika/machibika_activity/machibikaP2025.html

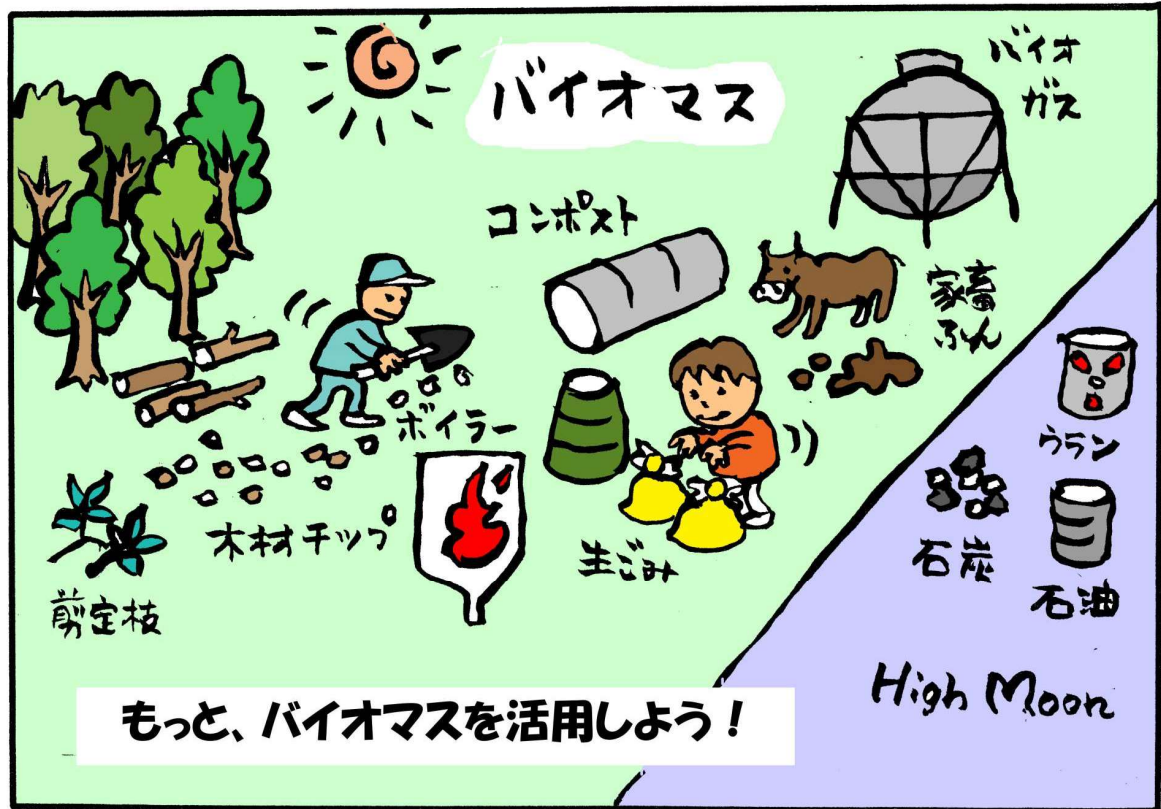
◆高松市

○「令和 7 年度 高松市小・中学生 環境保全ポスターコンクール」の作品募集について

⇒ https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kurashi/kankyo/oshirase/R2_con.html

第19回：バイオマス（ゴミック新作集 17-10 より）

各国ともエネルギーの確保に躍起になっていますが、ここで注目される再生可能エネルギーとしてバイオマス（有機物資源）があります。このバイオマスの賦存量（理論的な総量）は莫大で、陸上の森林だけでも 300 億トン-C/年もあり、これは現在の人類の消費エネルギーの約 10 倍に相当すると言われています。これにもろもろの有機性廃棄物を加えると、膨大になるので是非活用したいものです。



作者註：バイオマスの賦存量(ふそんりょう)は莫大です

「連載：3R・気候変動マンガ集」には、毎回、3R分野と気候変動分野にちなんだ作品を「ハイムーン工房ギャラリー」の「ゴミック新作集」(<https://highmoonkobo.net/>) からピックアップして紹介します。

なお、ハイムーン氏は氏が作成したマンガ、イラストについては基本的には著作権主張されず、むしろ多くの人に活用されることを望んでおられます。例えば、環境NPOのニュースレター、各自治体の廃棄物対策用啓発パンフレット、教育現場での教材などには、紙媒体だけでなく電子媒体でも活用可能です。イラスト利用の場合は出来れば「ハイムーン工房のホームページより」などと出典を明記していただければ幸いです。但し、企業の営利にかかわるものへの活用はお断りされています。

また、ハイムーン工房のギャラリー作品は一つの作品に3つの解像度（オリジナル、中サイズ、小サイズ）のものを用意されていますので、要望に合わせてダウンロードして活用ください。

作品についてのさらなる要望（たとえば白黒画像など）があれば、直接、ハイムーン氏へ下記電子メールで連絡してください。

■プロフィール：高月 紘

【略歴】1941年京都府生まれ。1965年京都大学工学部卒業、1977年京都大学工学博士、1985年京都大学環境保全センター教授。京都大学名誉教授 工学博士（廃棄物処理）。

京エコロジーセンター前館長。公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 前理事長。日本漫画家協会会員。

【コンタクト】ハイムーン工房：URL <http://highmoonkobo.net/> 電子メール：em.highmoon@gmail.com

1. JCCCA からのお知らせ

【出展情報】環境広場さっぽろ 2025 に JCCCA が出展します

<https://www.jccca.org/news-info/362394>

2. 温暖化関連ニュース

令和7年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書が公表されました

<https://www.jccca.org/news/357278>

脱炭素チャレンジカップ 2026 エントリー開始！

<https://www.jccca.org/news/362377>

うちエコ診断士資格試験公式テキストの販売について

<https://www.jccca.org/news/362392>

3. 温暖化関連イベント情報

【オンライン開催】断熱に関するウェビナー開催（2025年7月5日（土））

https://www.jccca.org/event_info/358093

【中小企業向け】「脱炭素に向けた補助金等活用セミナー」の開催（2025年7月11日（金））

https://www.jccca.org/event_info/359424

【オンライン開催】気候変動適応サイエンスカフェ「身近な緑の役割と課題 ― 災害現場で見えてきたこと ―」
のご案内（2025年7月11日（金））

https://www.jccca.org/event_info/354940

【ユース向け】Local Conference of Youth (LCOY) 開催のご案内（2025年7月27日～8月10日）

https://www.jccca.org/event_info/359365

【募集】「令和7年度 気候変動アクション環境大臣表彰」のご案内

https://www.jccca.org/event_info/357463

【オンライン開催】気候変動適応サイエンスカフェ「身近な緑の役割と課題 ― 災害現場で見えてきたこと ―」
のご案内（2025 年 7 月 11 日（金））

https://www.jccca.org/event_info/354940

「第 17 回 環境教育ポスターコンクール」のご案内（主催：公益財団法人こども教育支援財団）

https://www.jccca.org/event_info/353775

<お願い>

JCCCA ウェブサイトでは、温暖化関連イベントの情報を掲載しています。

掲載希望のイベントがございましたら、下記の URL からご連絡をお願いいたします。

<https://www.jccca.org/otoiawase/event-form>

~~~~~

発行者：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

<https://www.jccca.org/>

今年は、全国的に短い梅雨期となりそうで、近畿以西は記録的に早い梅雨明けとなりました。

今更ですが、梅雨の風物詩はというと、都会育ちの私は、庭の紫陽花（あじさい）が象徴的で、その濡れた葉にはカタツムリがいて、雨音に混じったアマガエルの鳴き声に演出された情景が思い浮かびます。

しかし、今年の梅雨の間には、この役者の揃った情景をライブで視聴することはありませんでした。特にカエルの鳴き声は、随分以前から聞くことができなくなりました。

炎天下の強い陽光にもひるむことなく、凜としてその姿を主張する紫陽花に、心なしか雨に濡れて映える美しい姿と違った逞しさを感じました。



横浜市中区の三溪園にて  
写真撮影・文責：村岡良介

---

□■編集後記■□

---

近畿以西は記録的に早い梅雨明けとなり、東海以東も近々の梅雨明けが予想されています。いよいよ夏本番ですね。しかし、一方で、梅雨期の少雨と猛暑の長期化への警戒が呼び掛けられています。さらに、梅雨入り後も線状降水帯が発生して、洪水や土砂災害を引き起こす大雨や短時間強雨情報の発表回数が増加しています。地球温暖化が一因とされる異常気象が、年々、増加、激甚化していることを報道から、時に身をもって実感させられます。海に山に、観光に余暇を計画し、風物詩の魅力を満喫する夏は、気象情報や災害情報に注意して、環境問題への意識を高め、身を守る行動が必要不可欠になっています。(R.M.)

お気に入りの画像にメッセージを添えて、「今月の1枚」を投稿しませんか？

「合格者の声」の投稿も歓迎します！

本ニュースレターを読者の皆様ご自身の活動紹介や情報発信、交流の場に活用してください。

編集メンバー：浅利美鈴（総合地球環境学研究所）、  
村岡良介（日本環境衛生センター・村岡環境カウンセラー事務所）、  
山田大智（京都大学）

協力：3R・資源循環推進フォーラム、全国地球温暖化防止活動推進センター

◆一般社団法人 持続可能環境センター◆

〒604-8874 京都市中京区壬生天池町 27-4 Tel : 075-708-8144 FAX : 075-708-8153

◆3R・気候変動検定 検定事務センター◆

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-16-13 堺筋ベストビル 9 階 一般財団法人 環境事業協会内

電話 : 06-6210-1720 Website: <https://3r-cc.jp> E-mail : [ex@3r-cc.jp](mailto:ex@3r-cc.jp)

Twitter ID: @3r\_lcs\_kentei ([https://twitter.com/3r\\_lcs\\_kentei](https://twitter.com/3r_lcs_kentei))

Facebook ID: @3rteitanso (<https://www.facebook.com/3rteitanso/>)

受付時間 9 : 00 - 17 : 00 (12 : 00 - 13 : 00 を除く) 休業日 : 土・日・祝・年末年始 (12 月 28 日 ~ 1 月 5 日)

☆Instagram を開設しました☆

.instagram ID: [https://www.instagram.com/3r\\_kikouhendou\\_kentei/](https://www.instagram.com/3r_kikouhendou_kentei/)